

久山中便り

久山中学校
令和7年11月21日発行
第55号

生徒会役員に託す

生徒会役員選挙結果

19日(水)の放課後、選挙管理委員会から選挙結果の報告がありました。

複数の候補者があつた役職も、信任投票だった役職もすべてが決定しました。認証式は、終業式の日に行いますが、生徒会としての方向性は準備できていると思います。

「身だしなみ」の理念は決まりましたが、細かいルール改正も道半ば。今後は、久山の地域や今の時代に合ったルールへの見直し、おうちの方の理解も必要となってきます。

「現状維持(今の状態のままでいること)」

「前年踏襲(前の年と同じことをやること)」は、マイナスをもたらします。自らの活動を自主管理し、次の課題に挑戦できる生徒会こそ、一人一人が大切にされる学校生活を作ることができそうです。

執行部と言われる生徒会役員のアイデアや工夫が、久山中を変えていきます。新執行部に寄せる期待がますます高まるばかりです。

ボランティアは互助の精神

少し寒くなってきましたが、あちこちでボランティアが活躍しています。

一つは、社会福祉協議会から依頼されたプランターの花植えです。

19日(水)の昼休みに芝生広場に集まって、プランターに培養土を入れ、花の苗を丁寧に植えていきました。50個以上のプランターが出来上がり、今後は、町内の各地に運ばれていきます。



二つは、道徳の日の挨拶ボランティアです。20日(木)の早朝、山田小、久原小、久山の校門前で行いました。久原小では、20名以上の参加がありました。教育委員の方から、「こんなにたくさん参加してもらえるんですか。全員ボランティアですか。」と驚いた様子でたずねられました。

三つは、朝の清掃ボランティアです。これは、三年生の男子を中心に広まっています。受験前で忙しい時間を過ごしているにも関わらず、とてもありがたい行いです。

ボランティアを調べてみると「互助の精神」とありました。つまり、困った人がいれば自分から助けたり、支え合ったりする心構えや行動です。

そんな心構えや行動が広がっていく久山中であつたほしいと願っています。

修学旅行に向けて(二年生)

二年生は、修学旅行の班別自主行動に向けた計画立案に熱心です。

とはいえ、修学旅行まで、十日余り。まだ行き先が、決まっていないところに焦りも見えます。

特に、二日目のジャンボタクシーでの活動は、運転手さんが行程を把握するためにも、事前にお知らせしなければなりません。訪問先が多くなると見学時間が短くなるし、食事の場所も時間と費用を予想して計画しなければならず、なかなか大変です。

グループによっては、着付け体験(着物を着用して散策)なども予定しているようです。

計画するときが、旅行の中で一番楽しい時間ともいわれます。班内の意見を上手にくみ取って、全員が楽しい旅となるようみんなの意見を調整してほしいと思います。

